

5 ヒロクチカノコ

(アマオブネ科)

兵庫県ランク:B

Neripteron sp.

環境省ランク:NT

種の概要

三河湾から九州にかけて分布する。川の汽水域や内湾奥部のヨシ帯にある泥底の滞筋や溜まりなどで、泥上、流木や礫の底側面などに生息する。殻径20mm、殻高12mm前後で螺塔が低く、殻口・背面側から見ると滴形である。殻表面はやや緑を帯びた灰褐色から黒色で、泡状模様や不明瞭な色帯を有する個体もある。内唇滑層は滑らかで灰色または淡い灰褐色で、蓋は肌色に灰色の雲状斑がある。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
○			○	○			○

県内分布

高砂市、たつの市、赤穂市、洲本市

県内における生息状況及びその他特記事項

ランク変更なし。加古川以西の瀬戸内海(7河川)と淡路島中部(1箇所)の川の干潟や塩性湿地などのヨシ帯の中を流れる滞筋や溜まりに生息する。多くの場合は生息密度が低い。滞筋や溜まりが点在する干潟、あるいは、そこに流木などがあれば集中して付着することもある。

保護上の留意点

河口汽水域や内湾奥部の細流においてヨシ帯が存在し、周辺の泥場に滞筋や溜まりが形成され、加えて流木など付着基盤の存在する干潟の保全が必要となる。干潟の形成される潮間帯エリアを河川横断面に対し十分に維持することで、本種の生息に好適な緩傾斜の泥底が形成されるであろう。



写真提供：増田修



写真提供：松村勲

【執筆者】 増田修